

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について〈資料〉

京都市教育委員会

平成29年4月18日（火）に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」）について、京都市立学校の状況をお知らせいたします。

小学校、中学校ともに2教科（国語、算数・数学）全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回る良好な結果でした。

1 調査の概要

- (1) 実施日 平成29年4月18日（火）
- (2) 対象学年 小学校第6学年，中学校第3学年
- (3) 実施教科等
 - ①教科（国語，算数・数学）に関する調査
「主として知識に関する問題（A問題）」と「主として活用に関する問題（B問題）」
 - ②児童生徒質問紙調査 生活習慣や学習環境等に関する調査
 - ③学校質問紙調査 学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 実施市立学校数・参加人数

	実施学校数	参加人数
小学校	163校	9,830人
総合支援学校小学部	1校	
中学校	72校	9,138人
総合支援学校中学部	1校	

2 教科に関する調査の結果について

(1) 小学校調査（6年生）

小学校の平均正答率は、全国平均を1.2～3.1ポイント上回っています。主として活用に関するB問題では、国語で全国平均を1.5ポイント、算数で3.1ポイント上回っています。なお、本調査が開始された平成19年度以降、全ての教科において全国平均を上回っています。

また、8割以上の設問において、本市の平均無解答率が全国平均を下回る等、平成28年度と同様に子どもたちが最後まで諦めずに解答しようとする姿勢が伺えます。

一方で、特にA問題の「書く能力（国語）」や「正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解しているかどうかを問う問題（算数）」に関する問題等、一部の設問において、その正答率が全国平均よりも低く、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。

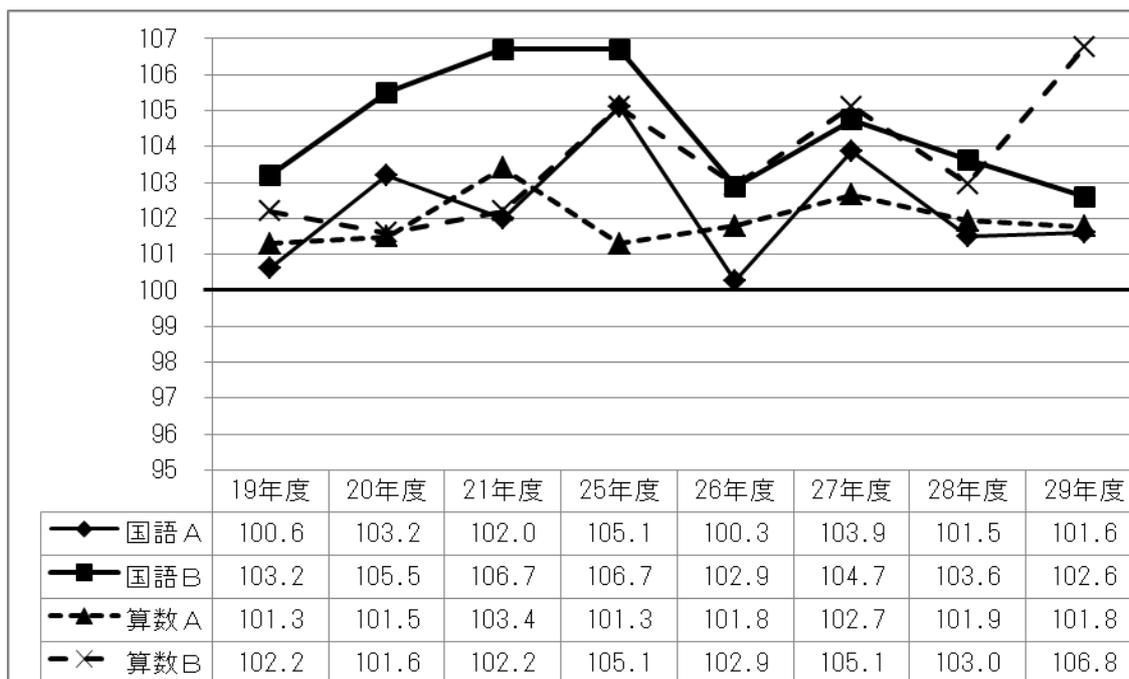
公立学校の平均正答率・指数

	国語A（知識）		国語B（活用）		算数A（知識）		算数B（活用）	
	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数
京都市	76 (+1.2)	101.6	59 (+1.5)	102.6	80 (+1.4)	101.8	49 (+3.1)	106.8
京都府 (京都市を含む)	76	101.6	59	102.6	80	101.8	48	104.6
全 国	74.8	100.0	57.5	100.0	78.6	100.0	45.9	100.0

※ 指数…全国の平均正答率を100とした場合の京都市・京都府の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

◆本市の指数の経年変化



※平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。平成 23 年度は東日本大震災のため中止。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は、全国平均を国語Aで1.2ポイント、国語Bで1.5ポイント上回っています。
- 特に、A問題の「話す・聞く能力」「読む能力」に関する問題やB問題の「読む能力」に関する問題の正答率が高くなっています。
- 一方で、A問題の「手紙の構成を理解し、後付けを書く問題」などの「書く能力」に関する問題の正答率は全国平均より低く、下記のとおり一部の問題において、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。また、B問題の「目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す問題」にも課題が見られます。

全国平均と比べて正答率が高かった問題例

- A問題 7 (2) 漢字を正しく書く問題（4年生のきぼう者）
正答率 **84.4%**（全国平均 **80.0%**） 無解答率 3.2%（全国平均 4.6%）
- B問題 2 一 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える問題
正答率 **74.3%**（全国平均 **70.8%**） 無解答率 0.5%（全国平均 0.7%）
- B問題 3 三 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題
正答率 **47.8%**（全国平均 **43.7%**） 無解答率 15.6%（全国平均 19.4%）

全国平均と比べて正答率が低かった問題例

- A問題 2 二 手紙の構成を理解し、後付けを書く問題
正答率 **39.7%**（全国平均 **41.5%**） 無解答率 0.1%（全国平均 0.3%）
- A問題 7 (1) 漢字を正しく書く問題（参加たいしょう）
正答率 **41.1%**（全国平均 **42.0%**） 無解答率 10.3%（全国平均 10.6%）
- B問題 1 三 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す問題
正答率 **48.1%**（全国平均 **48.4%**） 無解答率 2.0%（全国平均 2.6%）

<算数>

○平均正答率は、全国平均を算数Aで1.4ポイント、算数Bで3.1ポイント上回っています。

○特に、A問題の「数量関係」に関する問題やB問題の「量と測定」に関する問題の正答率が高くなっています。また、選択式問題よりも自分の考えを記述する記述式問題での正答率が高くなっています。

○なお、A問題の「正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解しているかどうかを問う問題」などの正答率は全国平均より低く、下記のとおり一部の問題において、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。また、B問題の「示された条件を基に、適切な式を立てることができるかを問う問題」にも課題が見られます。

全国平均と比べて正答率が高かった問題例

- A問題 9 (2) 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができるかを問う問題
正答率 **69.2%** (全国平均 **62.8%**) 無解答率 3.9% (全国平均 5.1%)
- B問題 3 (2) 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できるかを問う問題
正答率 **36.4%** (全国平均 **26.1%**) 無解答率 9.1% (全国平均 12.7%)
- B問題 4 (1) 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できるかを問う問題
正答率 **46.8%** (全国平均 **39.8%**) 無解答率 3.4% (全国平均 4.8%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題例

- A問題 5 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているかを問う問題
正答率 **66.4%** (全国平均 **67.0%**) 無解答率 1.0% (全国平均 1.3%)
- A問題 6 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解しているかを問う問題
正答率 **74.1%** (全国平均 **75.5%**) 無解答率 1.8% (全国平均 2.3%)
- B問題 1 (1) 示された条件を基に、適切な式を立てることができるかを問う問題
正答率 **75.9%** (全国平均 **76.0%**) 無解答率 2.0% (全国平均 2.0%)

(2) 中学校調査 (3年生)

中学校の平均正答率は、全国平均をそれぞれ0.4~0.9ポイント上回っており、主として活用に関するB問題では、国語で全国平均を0.8ポイント、数学で0.9ポイント上回っています。なお、平成26年度以降、全ての教科において全国平均を上回っています。

また、8割程度の設問において、本市の平均無解答率が全国平均を下回る等、平成28年度と同様に子どもたちが最後まで諦めずに解答しようとする姿勢が伺えます。

一方で、特にA問題の「言語に関する問題(国語)」や「資料の活用(数学)」等、一部の設問で、その正答率は全国平均より低く、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。

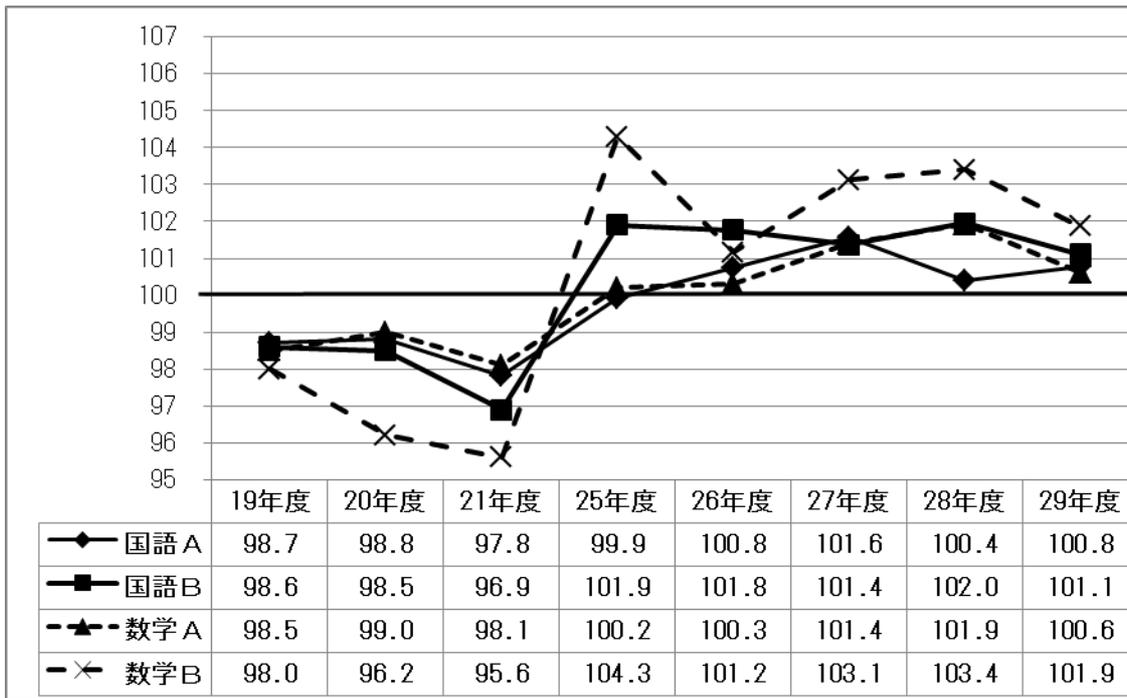
公立学校の平均正答率・指数

	国語A (知識)		国語B (活用)		数学A (知識)		数学B (活用)	
	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数
京都市	78 (+0.6)	100.8	73 (+0.8)	101.1	65 (+0.4)	100.6	49 (+0.9)	101.9
京都府 (京都市を含む)	78	100.8	73	101.1	66	102.2	49	101.9
全 国	77.4	100.0	72.2	100.0	64.6	100.0	48.1	100.0

※ 指数…全国の平均正答率を100とした場合の京都市・京都府の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の()内は全国値との差

◆本市の指数の経年変化



※平成 22 年度，24 年度は抽出調査のため除く。平成 23 年度は東日本大震災のため中止。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は，全国平均を国語Aで0.6ポイント，国語Bで0.8ポイント上回っています。
- 特に，A問題では，「話す・聞く能力」に関する問題，B問題では「書く能力」に関する問題の正答率が高くなっています。
- 一方で，A問題の「文脈に即して漢字を正しく書く問題」などの言語に関する問題の正答率は全国平均より低く，下記のとおり一部の問題において，基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。また，B問題の「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解する問題」にも課題が見られます。

全国平均と比べて正答率が高かった問題例

- A問題 9 三 イ 語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う問題
正答率 **66.4%** (国平均 **61.4%**) 無解答率 0.4% (全国平均 0.7%)
- A問題 9 六 1 楷書と行書の違いを理解する問題
正答率 **54.8%** (国平均 **49.6%**) 無解答率 0.7% (全国平均 1.0%)
- B問題 3 三 必要な情報を集めるための見通しをもつ問題
正答率 **72.2%** (国平均 **68.8%**) 無解答率 5.4% (全国平均 7.4%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題例

- A問題 9 一 1 文脈に即して漢字を正しく書く問題 (組織のキボを大きくする)
正答率 **59.3%** (全国平均 **62.8%**) 無解答率 16.8% (全国平均 15.8%)
- A問題 9 一 3 文脈に即して漢字を正しく書く問題 (店をイトナむ)
正答率 **82.2%** (全国平均 **85.4%**) 無解答率 9.4% (全国平均 8.3%)
- B問題 1 二 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容を理解する問題
正答率 **82.5%** (全国平均 **84.1%**) 無解答率 5.2% (全国平均 5.3%)

<数学>

- 平均正答率は、全国平均を数学Aで0.4ポイント、数学Bで0.9ポイント上回っています。
- 特に、A問題では、「図形」に関する問題、B問題では「数と式」に関する問題の正答率が高くなっています。
- 一方、A問題の「範囲の意味を理解しているか問う問題」など「資料の活用」に関する問題の正答率は全国平均よりも低く、下記のとおり一部の問題において、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に課題が見られます。また、B問題の「与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができるかを問う問題」にも課題が見られます。

全国平均と比べて正答率が高かった問題例

- A問題 4 (3) 扇形の弧の長さを求めることができるかを問う問題
正答率 **36.3%** (全国平均 **30.7%**) 無解答率 15.9% (全国平均 19.7%)
- A問題 8 命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができるかを問う問題
正答率 **80.4%** (全国平均 **74.3%**) 無解答率 7.8% (全国平均 10.1%)
- B問題 5 (3) 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかを問う問題
正答率 **21.1%** (全国平均 **17.6%**) 無解答率 26.5% (全国平均 31.2%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題例

- A問題 3 (2) 具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができるかを問う問題
正答率 **49.6%** (全国平均 **52.8%**) 無解答率 15.3% (全国平均 16.6%)
- A問題 14 (1) 範囲の意味を理解しているかを問う問題
正答率 **20.6%** (全国平均 **28.6%**) 無解答率 7.5% (全国平均 9.6%)
- B問題 5 (2) 与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができるかを問う問題
正答率 **47.7%** (全国平均 **50.3%**) 無解答率 0.6% (全国平均 0.8%)

3 児童生徒質問紙調査に関する結果について

児童生徒質問紙調査では、京都市立学校の児童生徒の学校生活・社会生活での意識や学習に対する関心・意欲・態度については概ね昨年度と同様であり、また、学習時間・家庭学習や自尊感情・規範意識などの項目はやや改善が見られる結果となりました。

その一方で、読書時間については、概ね昨年度と同様ですが、依然として「10分よりも少ない児童生徒」の割合（小学校 36.8% 中学校 53.1%）は、全国平均を上回っています。また、家庭内でのゲーム時間やスマートフォンの利用時間については、平成28年度を上回っており、全国平均と比較しても、やや使用時間が長い現状が浮き彫りになっています。

ここでは、「学習時間・家庭学習」、「ゲーム、携帯電話・スマートフォンの利用と家庭学習」、「基本的生活習慣」、「読書」、「自尊感情、達成感、規範意識」、「地域・社会への関心、ボランティア活動経験等」など、学力と相関関係がある項目を挙げています。

確かな学力の定着・向上のためには、家庭学習など自学自習の学習サイクルの確立をはじめ、日々の生活において、子どもたちの規範意識や自尊感情を高め、地域や社会に関心を持たせ実際に地域での活動につなげるなど、家庭・地域・学校における継続的な取組が重要であることが読み取れる結果となっています。

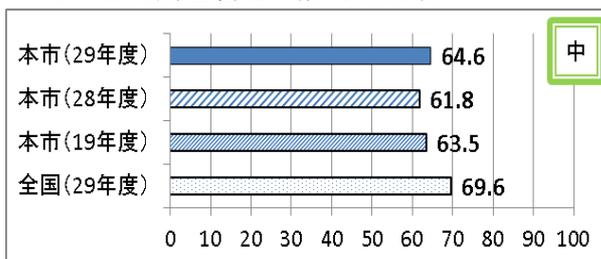
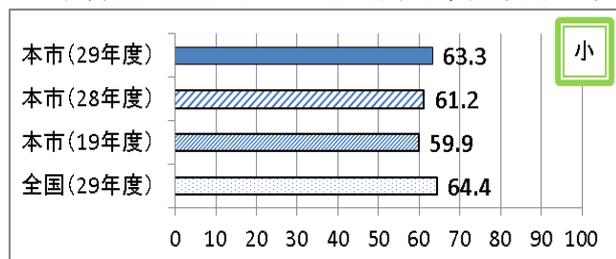
(1) 学習時間・家庭学習

授業以外で「平日1日1時間以上勉強する」児童生徒は、平成28年度よりもやや増加傾向にありますが、依然として全国平均を下回っています。また、「30分より少ない」、「全くしない」と答えた児童生徒についても、平成28年度より減少傾向にありますが、依然として全国平均を上回っています。

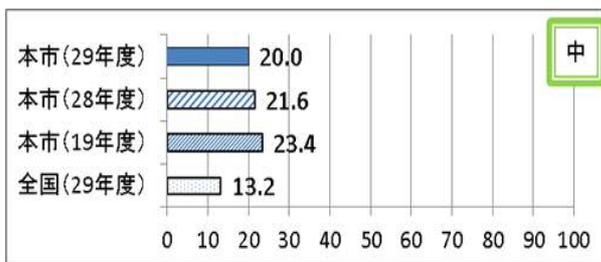
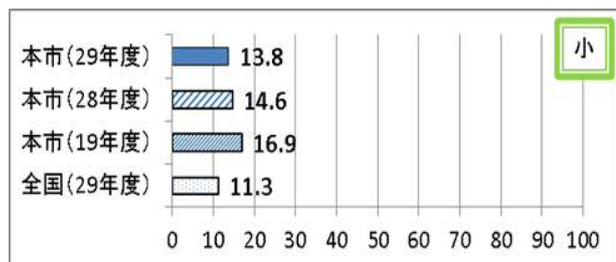
「家での計画的な学習をあまりしていない」、「全くしていない」児童生徒についても、同様に全国平均を上回っています。小中学校ともに、「宿題や家庭学習を計画的にしっかりと取り組んでいる児童生徒ほど、正答率が高くなる」のは、京都市も含め全国的な傾向です。

○平日の学習時間（「1時間以上」と回答した割合）（単位：％）

* 学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む（以下同じ）



○平日の学習時間（「30分より少ない」「全くしない」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

* その他・無回答を除くため、児童生徒数の割合の合計は必ずしも100%とはならない（以下同じ）

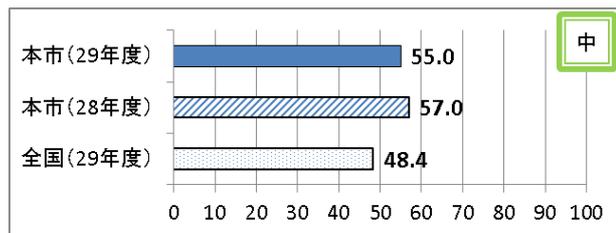
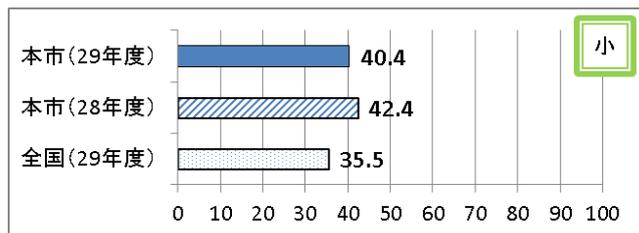
平日の学習時間*（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
3時間以上	16.3%	83.0%	68.6%	89.0%	62.8%
2時間以上, 3時間未満	15.3%	77.0%	60.8%	81.3%	50.1%
1時間以上, 2時間未満	31.7%	76.0%	58.9%	79.9%	48.1%
30分以上, 1時間未満	22.7%	73.4%	56.6%	76.6%	45.3%
30分より少ない	9.9%	70.4%	52.0%	72.8%	41.2%
全くしない	3.9%	62.8%	44.7%	64.2%	33.3%

【京都市立中学校 クロス集計】

平日の学習時間*（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
3時間以上	12.1%	81.4%	77.5%	73.8%	56.7%
2時間以上, 3時間未満	23.3%	80.6%	76.3%	70.7%	52.1%
1時間以上, 2時間未満	29.2%	78.4%	73.4%	66.0%	49.0%
30分以上, 1時間未満	15.3%	78.2%	73.0%	63.3%	47.9%
30分より少ない	11.2%	75.6%	69.3%	58.6%	44.8%
全くしない	8.8%	69.0%	61.5%	50.6%	38.2%

○家での計画的な学習（「あまりしている」「全くしていない」と回答した割合）（単位：％）

*19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

家で自分で計画を立てて勉強しているか (選択肢)	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	25.6%	80.3%	64.6%	85.0%	56.1%
どちらかといえばしている	33.9%	77.1%	61.2%	81.8%	50.8%
あまりしていない	29.9%	73.2%	55.8%	76.1%	44.8%
全くしていない	10.5%	66.8%	47.6%	68.9%	37.3%

【京都市立中学校 クロス集計】

家で自分で計画を立てて勉強しているか (選択肢)	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	14.2%	81.4%	76.7%	72.3%	54.8%
どちらかといえばしている	30.7%	80.6%	76.3%	69.8%	52.2%
あまりしていない	35.9%	77.6%	72.6%	63.8%	47.5%
全くしていない	19.1%	72.7%	65.6%	56.4%	42.6%

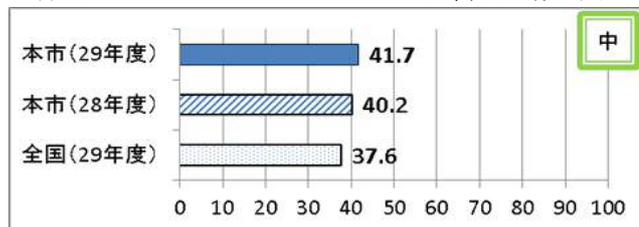
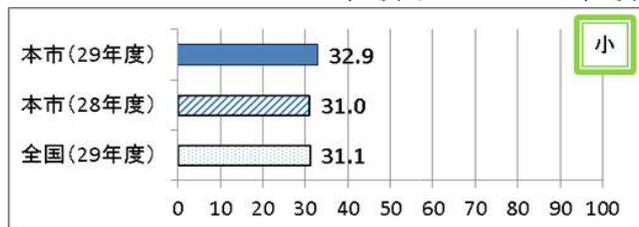
(2) ゲーム、携帯電話・スマートフォンの利用と家庭学習

平日にテレビゲーム（携帯ゲーム含む）を「2時間以上する」児童生徒は、平成28年度よりも、小中学校ともにやや増加傾向であり、全国平均を上回っています。

さらに、携帯電話・スマートフォン（ゲームを除く）を「2時間以上する」児童生徒についても、概ね同様の傾向が見られます。なお、「ゲームや携帯電話・スマートフォンの利用時間が短いほど学習時間が長くなり、正答率が高い」傾向にあります。

○ゲーム時間（「2時間以上」と回答した割合）（単位：％）*19年度は同様の質問が無い。

*コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲームを含む（以下同じ）



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりのゲーム時間 (選択肢)	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上、3時間未満	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	10.8%	12.6%	26.5%	23.0%	15.9%	11.2%
3時間以上、4時間未満	8.9%	16.0%	34.1%	25.2%	11.0%	4.9%
2時間以上、3時間未満	8.4%	16.3%	35.0%	25.8%	10.9%	3.7%
1時間以上、2時間未満	10.4%	15.9%	36.0%	24.0%	10.5%	3.2%
1時間より少ない	19.6%	15.5%	31.6%	22.3%	8.6%	2.3%
全くしない	35.5%	15.1%	24.7%	16.7%	5.6%	2.4%

1日あたりのゲーム時間（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	10.3%	65.3%	45.9%	67.9%	36.4%
3時間以上，4時間未満	8.6%	70.7%	52.9%	73.1%	42.0%
2時間以上，3時間未満	14.0%	72.9%	55.9%	76.9%	45.0%
1時間以上，2時間未満	23.2%	75.9%	58.8%	80.2%	48.0%
1時間より少ない	29.1%	79.3%	63.6%	83.8%	53.9%
全くしない	14.5%	80.9%	66.4%	84.7%	57.3%

【京都市立中学校 クロス集計】

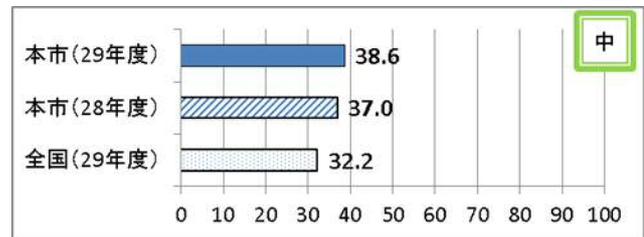
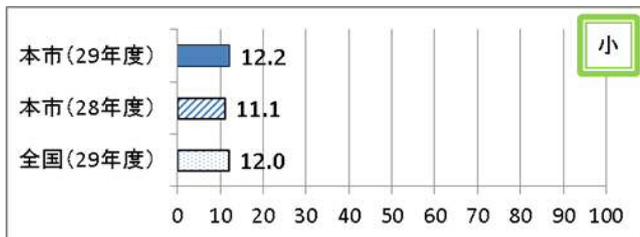
1日あたりのゲーム時間（選択肢）	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上，3時間未満	1時間以上，2時間未満	30分以上，1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	11.6%	16.7%	24.8%	13.7%	13.8%	19.4%
3時間以上，4時間未満	8.0%	23.1%	30.4%	15.0%	14.0%	9.6%
2時間以上，3時間未満	9.8%	23.2%	30.2%	17.1%	12.2%	7.5%
1時間以上，2時間未満	11.0%	23.1%	30.3%	18.7%	9.7%	7.2%
1時間より少ない	13.8%	25.1%	29.1%	15.2%	10.8%	6.0%
全くしない	16.7%	27.1%	30.3%	11.4%	8.6%	5.9%

1日あたりのゲーム時間（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	14.5%	70.4%	62.7%	54.3%	39.7%
3時間以上，4時間未満	10.7%	73.5%	66.8%	59.4%	44.3%
2時間以上，3時間未満	16.5%	75.9%	69.5%	63.3%	46.6%
1時間以上，2時間未満	19.2%	79.2%	74.4%	68.4%	50.5%
1時間より少ない	23.0%	81.9%	78.4%	70.4%	53.7%
全くしない	15.8%	83.7%	80.6%	71.0%	54.6%

○携帯電話やスマートフォンの利用時間（「2時間以上」と回答した割合）（単位：％）

*19年度は同様の質問が無い。

*携帯電話やスマートフォンのゲームは除く（以下同じ）



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりの携帯電話，スマートフォンの利用時間（選択肢）	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上，3時間未満	1時間以上，2時間未満	30分以上，1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	12.5%	11.8%	28.5%	19.1%	17.6%	10.6%
3時間以上，4時間未満	11.5%	19.5%	29.6%	24.1%	10.3%	4.9%
2時間以上，3時間未満	8.5%	20.6%	32.8%	22.4%	9.9%	5.8%
1時間以上，2時間未満	13.4%	14.5%	33.8%	26.1%	8.1%	4.1%
30分以上，1時間未満	13.6%	15.3%	34.4%	24.3%	8.9%	3.6%
30分より少ない	21.6%	15.3%	31.2%	20.3%	8.6%	3.0%
携帯電話やスマホを持っていない	15.0%	15.1%	31.3%	24.0%	11.0%	3.6%

1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	4.3%	62.9%	42.8%	63.4%	33.1%
3時間以上、4時間未満	3.5%	68.4%	49.5%	69.2%	36.9%
2時間以上、3時間未満	4.4%	70.6%	52.2%	73.7%	41.3%
1時間以上、2時間未満	8.6%	72.4%	53.2%	74.5%	43.0%
30分以上、1時間未満	12.2%	75.6%	57.8%	79.0%	46.7%
30分より少ない	32.6%	78.2%	62.7%	82.6%	53.0%
携帯電話やスマホを持っていない	34.2%	77.1%	61.3%	82.0%	51.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上、3時間未満	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	12.5%	18.6%	24.6%	12.0%	14.8%	17.5%
3時間以上、4時間未満	10.7%	23.5%	30.6%	13.5%	11.7%	10.0%
2時間以上、3時間未満	10.5%	23.5%	31.9%	14.6%	11.8%	7.6%
1時間以上、2時間未満	9.5%	25.2%	29.2%	18.6%	10.7%	6.8%
30分以上、1時間未満	11.9%	23.8%	31.8%	15.6%	10.5%	6.4%
30分より少ない	15.4%	23.6%	29.3%	15.8%	8.6%	7.2%
携帯電話やスマホを持っていない	14.6%	24.1%	26.2%	15.6%	11.3%	8.1%

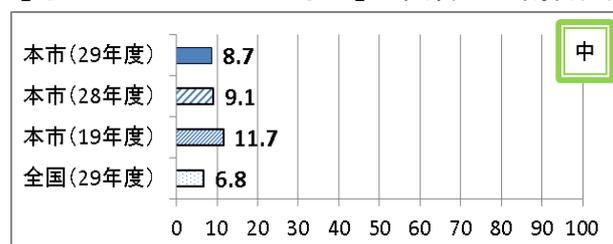
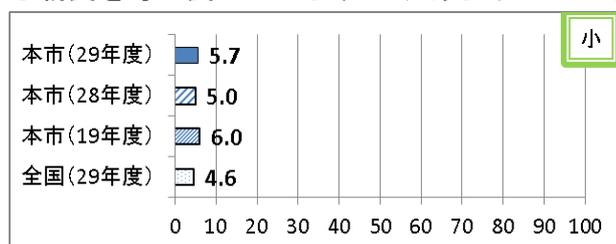
1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	13.0%	72.3%	65.4%	53.6%	39.1%
3時間以上、4時間未満	10.6%	73.8%	68.6%	58.8%	42.4%
2時間以上、3時間未満	15.0%	77.7%	73.0%	63.9%	47.1%
1時間以上、2時間未満	18.4%	78.9%	73.1%	66.4%	49.6%
30分以上、1時間未満	15.1%	79.7%	75.0%	68.7%	51.8%
30分より少ない	15.7%	80.6%	76.4%	71.6%	55.0%
携帯電話やスマホを持っていない	11.9%	82.1%	77.6%	72.1%	55.8%

(3) 基本的生活習慣

平成19年度と比較して、「朝食を毎日食べていますか」という質問に「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した児童生徒は減少しているものの、**小学校20人に1人以上、中学校で10人に1人以上の子どもたちが朝食をあまり食べていない・全く食べていないことがわかります。**

朝食を食べることや、1日活動した心身を休めるために睡眠時間を十分に取り翌日の活動に備えることなど、基本的生活習慣の確立は、子どもたちの「知・徳・体」を育むうえでとても重要なことです。ご家庭においても、子どもたちへの働きかけをお願いいたします。

○朝食を毎日食べていますか（「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

朝食を毎日食べていますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	84.6%	76.9%	60.6%	81.2%	50.6%
どちらかといえば、している	9.6%	70.7%	52.6%	72.9%	41.7%
あまりしていない	4.7%	67.0%	47.5%	67.2%	36.5%
全くしていない	1.0%	60.2%	43.4%	61.9%	35.5%

【京都市立中学校 クロス集計】

朝食を毎日食べていますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	79.2%	79.8%	75.3%	68.4%	51.4%
どちらかといえば、している	12.0%	73.8%	67.1%	56.7%	42.1%
あまりしていない	6.4%	68.7%	60.8%	50.8%	37.6%
全くしない	2.3%	67.3%	57.7%	48.7%	36.5%

(4) 読書

「読書好き」の児童生徒は、依然として全国平均を下回るとともに、「読書時間が10分よりも少ない」児童生徒（小学校 36.8% 中学校 53.1%）は、依然として全国平均を上回る等、特に中学生の読書離れが懸念されます。

学力との相関関係も見られ、**読書は学力の基盤となる読解力の育成等に影響があるものと考えられます。**なお、小中学校ともに、「平日に読書を全くしないという児童生徒の正答率は、読書をする児童生徒と比べて低く」1日あたりの読書時間の長さとも正答率についても一定関連が見られます。

○読書は好きですか（「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



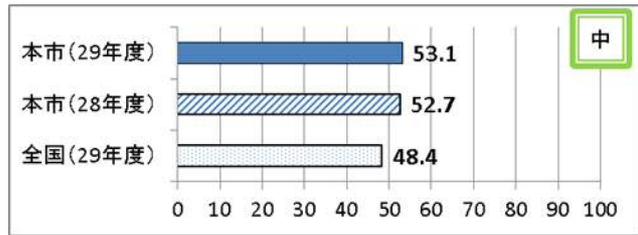
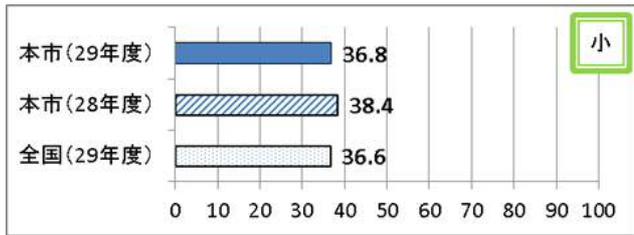
【京都市立小学校 クロス集計】

読書は好きですか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	47.2%	79.2%	64.5%	82.8%	53.9%
どちらかといえば当てはまる	25.8%	75.1%	58.0%	78.7%	47.3%
どちらかといえば当てはまらない	16.0%	71.5%	52.9%	76.4%	43.5%
当てはまらない	10.8%	68.0%	46.9%	72.4%	39.7%

【京都市立中学校 クロス集計】

読書は好きですか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	40.5%	83.3%	79.6%	70.0%	53.8%
どちらかといえば当てはまる	25.5%	78.3%	73.4%	65.2%	49.0%
どちらかといえば当てはまらない	17.5%	74.4%	68.3%	62.1%	45.5%
当てはまらない	16.1%	69.0%	60.9%	58.1%	41.2%

○読書時間（「10分よりも少ない」と回答した割合）（単位：％）＊19年度は同様の質問が無い。
＊授業以外，また教科書や参考書，漫画や雑誌を除く（以下同じ）



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりの読書時間（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
2時間以上	6.7%	77.4%	63.4%	80.6%	50.9%
1時間以上，2時間未満	9.4%	78.8%	63.8%	81.9%	52.7%
30分以上，1時間未満	18.9%	78.5%	63.5%	82.4%	53.0%
10分以上，30分未満	27.9%	77.1%	61.0%	81.8%	51.3%
10分より少ない	16.9%	73.4%	55.2%	77.1%	45.9%
全くしない	19.9%	70.8%	51.6%	74.4%	42.0%

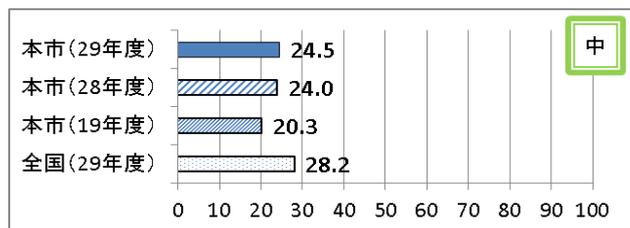
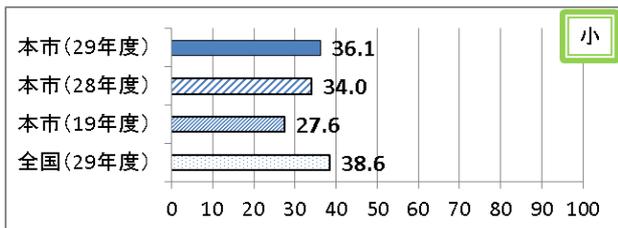
【京都市立中学校 クロス集計】

1日あたりの読書時間（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
2時間以上	5.1%	80.5%	75.3%	64.9%	48.5%
1時間以上，2時間未満	6.6%	80.0%	75.9%	66.2%	50.2%
30分以上，1時間未満	12.8%	81.8%	77.4%	69.3%	53.6%
10分以上，30分未満	22.3%	81.0%	77.0%	69.1%	52.7%
10分より少ない	15.3%	78.7%	73.2%	66.4%	50.3%
全くしない	37.8%	74.2%	68.1%	61.4%	44.7%

(5) 自尊感情，達成感，規範意識

「自分には，よいところがあると思いますか」という質問に「当てはまる」と回答している児童生徒は，平成19年度と比べると小中学校ともに増加していますが，依然として全国平均を下回っています。また，「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあるか」という質問に「当てはまる」と回答している児童生徒は，平成19年度と比べると小中学校ともに増加していますが，中学校は全国平均を下回っています。他にも「学校のきまり・規則を守っていますか」「友達との約束を守っていますか」という質問に「当てはまる」と回答している児童生徒は，平成19年度と比べると増加していますが，依然として全国平均を下回っています。

○自尊感情（「よいところがあると思いますか」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



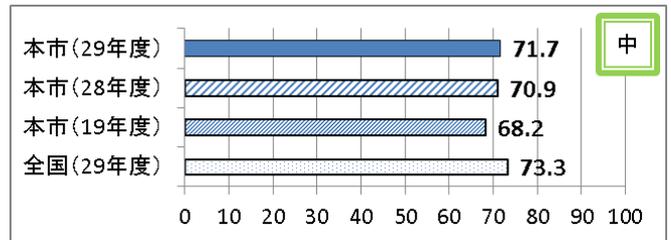
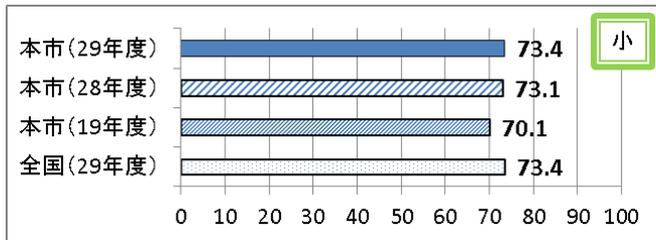
【京都市立小学校 クロス集計】

自分には、よいところがあると思いますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
当てはまる	36.1%	76.4%	59.9%	80.8%	50.7%
どちらかといえば当てはまる	41.2%	76.9%	60.7%	80.9%	50.0%
どちらかといえば当てはまらない	15.9%	73.4%	56.1%	76.5%	45.4%
当てはまらない	6.5%	69.5%	50.9%	71.3%	40.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

自分には、よいところがあると思いますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
当てはまる	24.5%	77.9%	72.3%	66.7%	49.6%
どちらかといえば当てはまる	46.0%	79.1%	74.2%	66.8%	50.4%
どちらかといえば当てはまらない	21.9%	77.3%	72.8%	63.2%	47.4%
当てはまらない	7.5%	75.3%	68.1%	59.3%	43.3%

○達成感（「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」に「当てはまる」と回答した割合）
（単位：％）



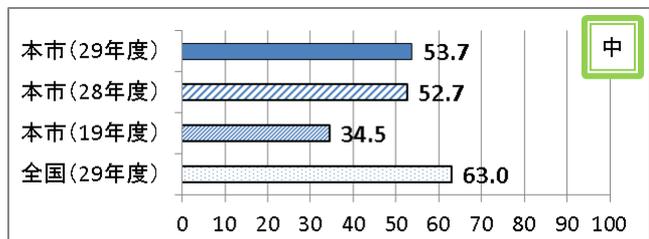
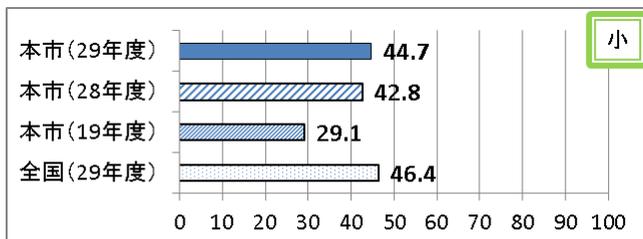
【京都市立小学校 クロス集計】

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
当てはまる	73.4%	77.2%	61.1%	81.2%	51.0%
どちらかといえば、当てはまる	21.2%	73.2%	55.3%	76.7%	45.3%
どちらかといえば、当てはまらない	4.1%	64.4%	47.3%	67.9%	35.8%
当てはまらない	1.2%	61.3%	39.4%	63.8%	33.8%

【京都市立中学校 クロス集計】

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
当てはまる	71.7%	79.4%	74.5%	66.9%	50.3%
どちらかといえば、当てはまる	22.9%	75.5%	70.1%	62.5%	46.6%
どちらかといえば、当てはまらない	4.0%	72.9%	65.4%	57.7%	43.1%
当てはまらない	1.4%	70.1%	62.2%	56.2%	39.5%

○規範意識（「学校のきまり・規則を守っていますか」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



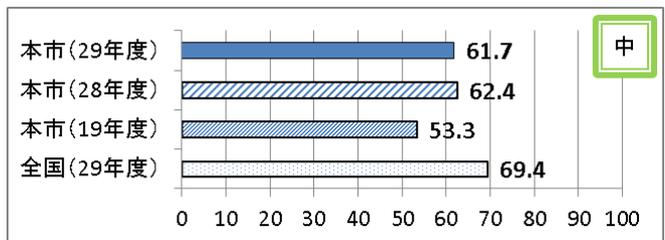
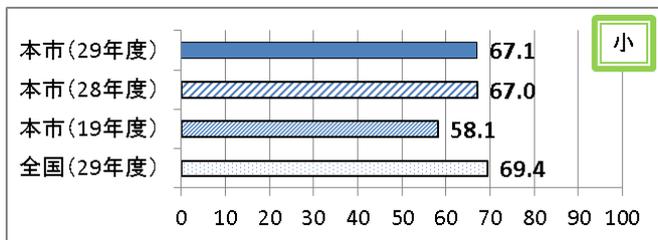
【京都市立小学校 クロス集計】

学校のきまりを守っていますか (選択肢)	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	44.7%	76.9%	60.6%	80.5%	50.1%
どちらかといえば当てはまる	47.5%	76.0%	59.7%	80.5%	49.7%
どちらかといえば当てはまらない	6.6%	68.1%	47.5%	69.9%	38.9%
当てはまらない	1.0%	59.1%	38.1%	62.0%	30.8%

【京都市立中学校 クロス集計】

学校の規則を守っていますか (選択肢)	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	53.7%	80.1%	75.6%	68.4%	51.6%
どちらかといえば当てはまる	40.1%	77.7%	72.3%	64.0%	47.8%
どちらかといえば当てはまらない	4.8%	65.0%	56.1%	50.1%	36.1%
当てはまらない	1.3%	57.7%	48.1%	41.1%	29.4%

○規範意識（「友達との約束を守っていますか」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

友達との約束を守っていますか (選択肢)	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	67.1%	77.0%	60.7%	81.0%	50.5%
どちらかといえば、当てはまる	29.8%	73.8%	57.0%	77.7%	46.9%
どちらかといえば、当てはまらない	2.2%	63.6%	43.3%	65.3%	35.4%
当てはまらない	0.8%	63.1%	41.0%	65.8%	34.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

友達との約束を守っていますか (選択肢)	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	61.7%	78.9%	73.9%	66.6%	49.7%
どちらかといえば、当てはまる	35.1%	77.3%	72.1%	64.1%	48.2%
どちらかといえば、当てはまらない	2.4%	72.5%	66.2%	59.0%	45.0%
当てはまらない	0.6%	69.2%	58.8%	54.5%	40.7%

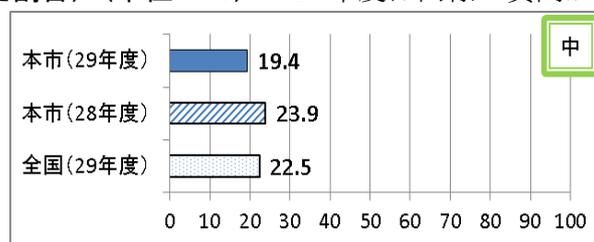
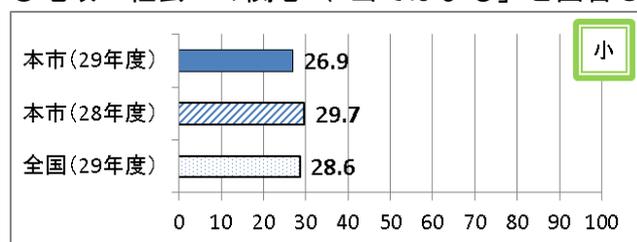
(6) 地域・社会への関心、ボランティア活動経験等

全国的な傾向として、小学生から中学生へと進学するにしたがって、地域・社会の出来事への関心が希薄化しています。また、本市では、昨年度と比べて小中学校ともに地域・社会へ関心がある児童生徒の割合が減少しています。地域や社会で起こっている問題や出来事に「関心がある子どもほど正答率が高い」傾向を示しており、学力との相関関係があることがわかります。

また、全国平均と比べて、本市の児童生徒はボランティア活動の経験が少なく、また「わからない」と回答している児童生徒も約4割となっています。地域社会でボランティア活動の「経験がある」と答えた児童生徒の正答率は、ボランティア活動の「経験がない」と答えた児童生徒より高い傾向を示しており、学力との相関関係があることがわかります。他にも、「人の役に立ちたいと思うか」という質問に「当てはまる」と回答した児童生徒は平成19年度と比べると小中学校ともに増加していますが、依然として中学校は全国平均を下回っています。なお、「人の役に立ちたいと思っている子どもほど正答率が高い」傾向を示しており、学力との相関関係があることがわかります。

やはり、学校での学びとともに、地域や社会との関わり等を通して、実際の体験につなげたり、何らかの役割を担う等、子どもたちが様々な体験を積み重ねていくことの重要性が伺えます。

○地域・社会への関心（「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）＊19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

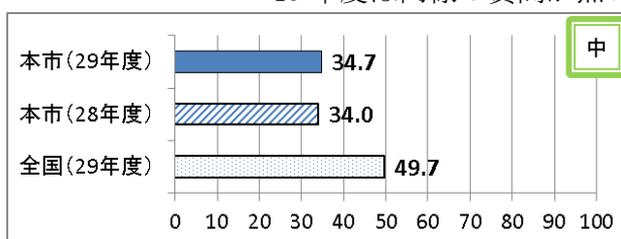
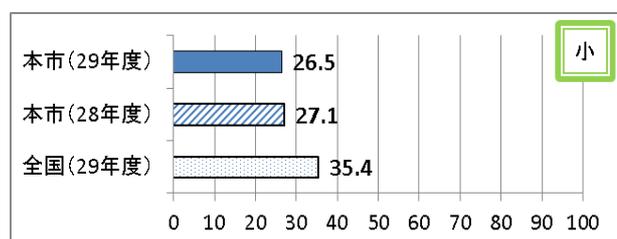
地域・社会の問題や出来事に関心がありますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	26.9%	79.6%	64.6%	84.0%	56.0%
どちらかといえば当てはまる	33.8%	76.3%	60.5%	80.9%	50.3%
どちらかといえば当てはまらない	25.5%	74.3%	56.4%	77.4%	45.1%
当てはまらない	13.7%	68.9%	49.6%	71.5%	38.8%

【京都市立中学校 クロス集計】

地域・社会の問題や出来事に関心がありますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	19.4%	81.6%	76.6%	70.3%	53.4%
どちらかといえば当てはまる	36.3%	80.3%	76.2%	67.9%	51.4%
どちらかといえば当てはまらない	27.5%	76.5%	71.3%	63.7%	47.3%
当てはまらない	16.6%	71.9%	64.7%	57.3%	41.8%

○ボランティア活動経験（「参加したことがある」と回答した割合）（単位：％）

＊19年度は同様の質問が無い。



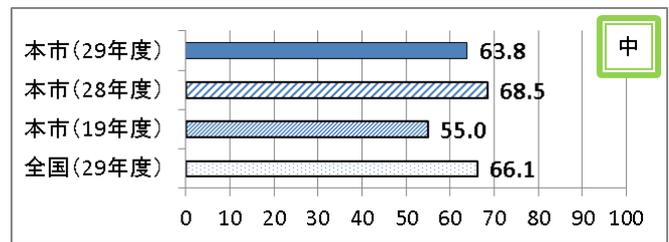
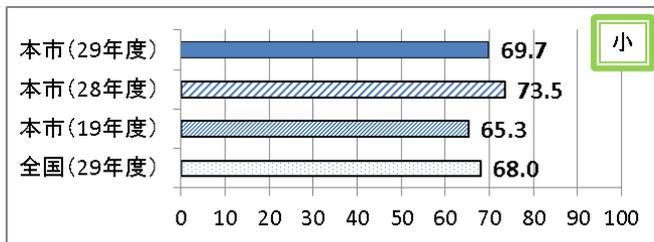
【京都市立小学校 クロス集計】

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
参加したことがある	26.5%	76.5%	60.6%	80.8%	50.7%
参加したことがない	27.1%	76.1%	59.4%	79.8%	49.4%
わからない	44.3%	75.4%	58.6%	79.2%	48.3%

【京都市立中学校 クロス集計】

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
参加したことがある	34.7%	80.3%	75.6%	68.4%	52.0%
参加したことがない	25.0%	78.3%	72.6%	65.0%	48.4%
わからない	40.2%	76.2%	71.1%	63.2%	46.9%

○人の役に立つ人間になりたい（「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

人の役に立つ人間になりたいと思いますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	69.7%	77.4%	61.0%	81.3%	51.0%
どちらかといえば、当てはまる	23.7%	73.5%	56.8%	77.8%	46.0%
どちらかといえば、当てはまらない	4.4%	67.5%	49.1%	69.2%	38.5%
当てはまらない	1.9%	60.9%	40.5%	65.4%	35.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

人の役に立つ人間になりたいと思いますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	63.8%	79.4%	74.7%	67.1%	50.4%
どちらかといえば、当てはまる	28.3%	76.7%	71.2%	63.4%	47.7%
どちらかといえば、当てはまらない	5.1%	73.5%	65.8%	59.0%	42.8%
当てはまらない	2.5%	72.0%	65.3%	58.7%	42.6%

4 京都市の学力向上の取組

本市では、子どもたちが身につけておくべき「確かな学力」を、「基礎的・基本的な知識・技能」、「習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、さらに「学ぼうとする意欲」「生涯にわたって学び続ける力」と定義しています。そして、熱意溢れる教職員の実践はもとより、PTA・保護者・地域・学校運営協議会の皆様のご協力のもと、「確かな学力」とともに、「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成を目指しています。

(1) 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施及び結果分析に基づいた授業改善

本市では、これまで、小中学校の接続を意識し、宿題を含む予習や復習、既習事項が定着したかどうかをみる確認テストの実施などを通して、**家庭学習をはじめとした自学自習の学習習慣（計画→事前学習→確認テスト→結果→事後学習）**を身につけるためのプログラムを実施し、今年度には、その実施回数を小学校4年生で1回、中学校1年生で1回増やす等充実を図っています。

確認テストを通して、児童生徒がつまずきやすいポイントや学力の定着に課題が多い単元・領域に関するデータが蓄積されていますので、全国調査の結果とともに、本市独自の分析システムにより多面的で詳細な結果分析を行い、教職員間、また小中学校間でその情報を共有し授業改善に活かしています。

各家庭においても、家庭学習をはじめとする自学自習の習慣化に向けて、本プログラムで配布される事前学習教材や事後学習教材等をご活用ください。

学年	時期	教科	名称
小3	1月	国語, 社会, 算数, 理科	プレジョイントプログラム
小4	8~9月 1月	国語, 算数 国語, 社会, 算数, 理科	
小5	8~9月 1月	国語, 算数 国語, 社会, 算数, 理科	ジョイントプログラム
小6	8~9月 1月	国語, 算数 国語, 社会, 算数, 理科	
	4月(中1)	国語, 算数	
中1	10月 1~2月	国語, 社会, 数学, 理科 英語	学習確認プログラム
	7月 10月		
中2	1~2月 5月		
	10月		
中3	10月		

(2) 小中一貫教育の更なる推進・充実

本市では、「小中一貫教育目標の設定」、「教育課程／指導形態の工夫・改善」、「教育活動の連続性の確保」、「教職員間の連携・協働」及び「家庭・地域との連携・協力」を小中一貫教育推進に関する「5つの視点」として定め、平成23年度から全ての中学校区で義務教育9年間の学びと育ちを見通した「小中一貫教育」をそれぞれの実情に応じて進めています。

平成27年度末には、これまでの小中一貫教育の成果や課題を踏まえ、5つの視点に基づく取組をさらに推進するための指針である「京都市小中一貫教育ガイドライン（試案）」を策定し、現在全ての中学校区において、義務教育卒業時に目指すべき子ども像及びその実現に向けた「つきたい力」及び「軸となる取組・活動」などを明らかにした「小中一貫教育構想図」を作成し、具体的な実践に取り組むなど、各中学校区の状況に応じた小中一貫教育の更なる充実を図っています。

(3) 授業等での指導の工夫・改善や次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成

各校における日々の指導においても、授業での学習の「めあて」の提示と「ふりかえり」の実施や、子どもたちの主体性や学習意欲を引き出す「学び合い」のある授業づくりの工夫等、従来からの取組をさらに高めるとともに、校長のリーダーシップのもと「教職員が主体的に児童生徒に対して組織的・一体的な指導を徹底して行う」学校組織づくりと組織的なチェック体制の確立を進めています。さらに、教育委員会では、「社会に開かれた教育課程」を中核理念とする次期学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善の工夫などの取組の充実を図っています。

(4) 新しい3学期制の導入

平成30年度から「新しい3学期制」を導入し、**1年間を通した切れ目のない学習指導の下、児童生徒の成長を継続的に見取るとともに、形成的な評価とより短い期間で学習指導・評価を行い、子どもたちの個性や長所、可能性等を伸ばす教育**を展開します。

(5) 課題のある学校への支援

基礎的・基本的な学力の定着に一定の取組が必要と認められる中学校区や学力向上に積極的に取り組もうとする中学校区に対して、教育委員会の学力向上プロジェクトチームが中心となって、中学校区及び各校の学力向上対策に関して、進捗状況を常に把握し、定期的な評価も行うなど、重点的に支援しています。

(6) 保護者・地域との連携による家庭学習への支援

本市では、学校運営協議会（平成29年10月末現在237校園に設置。小学校は全校に設置）をはじめ、地域の方々・保護者・学生ボランティアの参画のもと、「土曜学習」^{※1}や「放課後まなび教室」^{※2}、「放課後・学力ステップアップ事業」^{※3}などの取組により、家庭学習や自学自習の習慣の確立、基礎学力の定着に努めています。

教室の中での学習だけではなく、**自然体験や伝統文化体験などの体験学習、防災・安全の取組など、学校運営協議会や地域が主催する行事、「みやこ子ども土曜塾」^{※4}**などと学校が連携し、子どもたちが地域の方と交流する活動も大切にしています。子どもたちにとって、地域の方々に支えられているという意識や、地域の一員として主体的に関わろうとする意識を育む貴重な機会となっており、学力の基盤を形成する学ぶ意欲や態度を育み、自尊感情や自己肯定感の向上につながっていくものと期待しています。

その他、**読書ノートを活用した「めざせ100冊！読書マラソン」^{※5}を通した「本」大好きな子どもを育成する取組や規範意識を育むための取組**など、学校、家庭、地域が一体となったこうした一つの地道な取組の継続が、本市の児童生徒の学力を支えています。

教育委員会では、小中学校入学時に児童生徒へ配布している冊子「**自学自習のすすめ**」において、学力向上を図るうえで大切な家庭学習のヒントをわかりやすくまとめています。子どもたちと一緒に、是非ご一読ください。

- ※1 「土曜学習」…平成23年度から全ての小中学校で、土日祝日などの学校休業日に、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の支援をいただき、学習活動や体験活動を行っています。
- ※2 「放課後まなび教室」…平成21年度から全ての小学校区で、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の参画を得ながら、放課後の子どもたちに学習の習慣づけを図る『自主的な学びの場』と『安心・安全な居場所』として、運営しています。
- ※3 「放課後・学力ステップアップ事業」…平成29年度から全ての中学校で、家庭環境に関わらず、全ての子どもたちが可能性を最大限に伸ばし、自らの未来を切り拓いていけるよう、放課後等に基礎学力の定着を図るための学習支援を行っています。
- ※4 「みやこ子ども土曜塾」…平成16年度から、土日祝日や夏休みなどの学校休業日に青少年団体や大学、企業、NPO等が実施する伝統文化・自然活動等の体験活動をホームページ及び広報紙「京都是ぐくみ通信／G o G o 土曜塾」で発信し、平成28年度は3,340もの企画が登録される等、京都ならではの多様な資源を生かしたさまざまな学びの場についての情報を提供しています。
- ※5 「めざせ100冊！マラソン」…100冊読破達成児童数は平成28年度29,545人（全児童の47.4%）に上ります。

5 保護者・市民の皆様へ

子どもたちは、年齢をおって一つ一つの学習を積み上げていくことを通して、知っていることが増え、できることが広がり、物事への理解を深めていきます。この地道な営みが、自立した社会の一員としてよりよく生きるうえでの支えともなる子どもたちの個性を伸ばし、可能性を高め、自分らしい生き方を実現する原動力を培います。こうした成長の過程を支え、質・量ともに豊かにしていくことが学校、そして、家庭や地域を含めた大人社会の役割ではないでしょうか。

「小中一貫教育」や「京都市小中一貫学習支援プログラム」など、本市の学力向上に向けた主な取組も紹介しましたが、こうした取組とともに、学校運営協議会やPTAをはじめ、多くの方々のご協力のもと、市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもたちの学習環境を整えていただいております。

こうした取組が、**全国平均を上回る本市の平均正答率**はもとより、**全国平均以下の無解答率が示している「最後まで諦めない粘り強い態度」**や**家庭学習時間**、**自尊感情や規範意識の高まり**に表れています。

同時に今回の調査結果は、**基礎的・基本的な知識・技能の定着や読書・家庭学習習慣の定着**、**携帯電話やスマートフォンの使用状況**、**地域活動との関わり**など、**必ずしも良好と言えない課題が存在していることを示唆**しています。

子どもたちが夢と希望を持って、自分らしい生き方を実現できるよう、今回の調査結果をもとに、それぞれの学校や家庭・地域において、改めて、子どもたちの学びと育ちに関わるすべての大人たちが、子どもたちの状況に即した取組とともに考え、行動していただくことをお願いいたします。

(1) 調査結果から見えてきた課題

ゲームや携帯電話・スマートフォンを2時間以上する子どもの割合は、昨年度の本市の状況や全国平均を上回り、学習時間が少なく、平均正答率も低い傾向にあります。また、**読書時間が10分よりも少ない子どもの割合は、概ね昨年度と同様の結果となっていますが、依然として全国平均を上回り、さらに、中学校の割合は小学校よりも大きく（小学校 36.8% 中学校 53.1%）、中学生の読書離れが懸念**されます。地域・社会への関心やボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合についても全国平均を下回っており、「**地域社会への興味や関心**」がやや薄い傾向が見られました。

(2) 学校・家庭地域での取組の充実に向けて

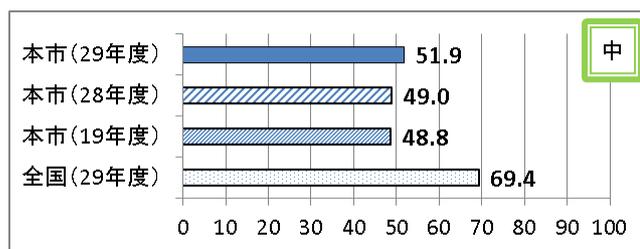
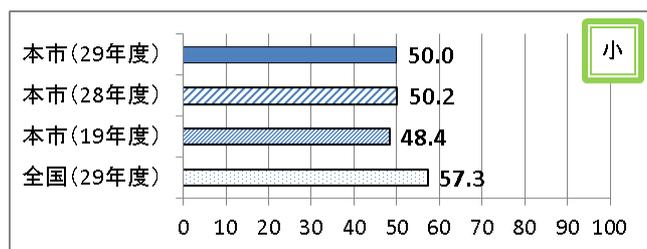
これらの調査結果を子どもたちの学力向上に活かすためには、**子どもたちが自らの学習や生活を振り返る機会として、家庭学習をはじめとした自学自習のサイクルにおいて問題の復習や、結果を踏まえた次の目標設定を行い、今後の学習や生活の充実につなげる**ことが重要です。学校では、この調査結果を詳細に分析し、**全学年において指導の改善につなげる**ことに加え、学校全体のこれまでの取組の成果と課題をまとめ、「学校だより」等でわかりやすく公表を行い、教職員はもとより、保護者・地域の皆様と情報を共有して指導方法の工夫や家庭学習の充実等に活かしてまいります。

ご家庭や地域においても、**子どもたちをあたたかく見守り、励ましていただくとともに、子どもたちが主体的に学び、活躍できる場面をぜひ設けていただき、学力向上の基盤となる家庭での携帯電話やスマートフォンの使用時間等についてのルール作りを含む学習機会の充実・朝食を毎日食べる等の基本的な生活習慣の確立・読書時間の確保・体験活動の充実・子どもたちの自尊感情の向上**に関してご支援いただくことが重要だと考えます。

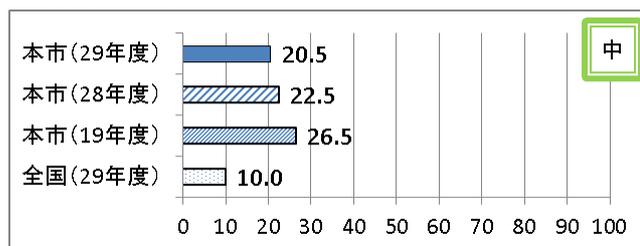
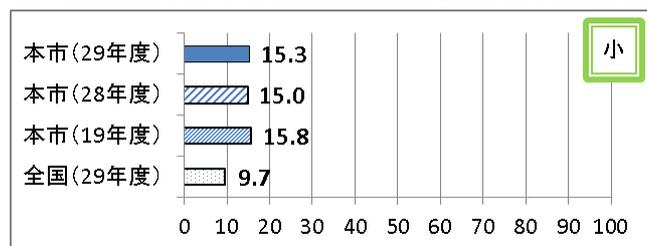
（参考）児童生徒質問紙調査に関する結果について

○休日の学習時間（「1時間以上」と回答した割合）（単位：％）

* 学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む（以下同じ）



○休日の学習時間（「全くしない」と回答した割合）（単位：％）



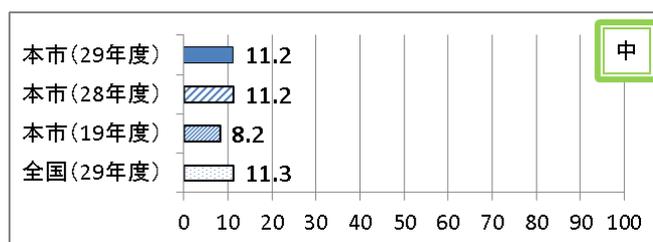
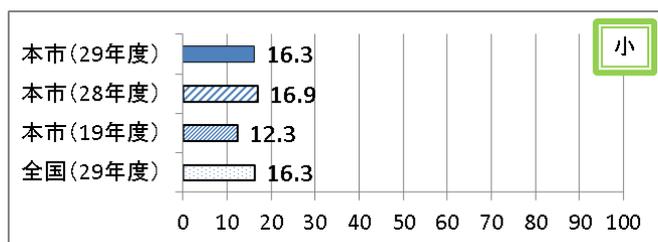
【京都市小学校 クロス集計】

休日の学習時間（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	10.9%	86.1%	72.8%	92.6%	69.0%
3時間以上, 4時間未満	5.1%	78.7%	64.7%	85.1%	56.7%
2時間以上, 3時間未満	10.0%	77.1%	60.8%	82.1%	50.3%
1時間以上, 2時間未満	24.0%	76.2%	59.6%	79.8%	48.7%
1時間より少ない	34.4%	73.8%	56.7%	77.4%	45.4%
全くしない	15.3%	69.5%	50.6%	71.2%	39.7%

【京都市中学校 クロス集計】

休日の学習時間（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	5.0%	86.0%	81.3%	78.7%	62.7%
3時間以上, 4時間未満	8.8%	82.5%	78.8%	74.9%	58.0%
2時間以上, 3時間未満	16.1%	80.6%	76.8%	71.2%	52.8%
1時間以上, 2時間未満	22.0%	79.3%	74.6%	67.5%	49.9%
1時間より少ない	27.5%	77.6%	72.8%	63.0%	47.2%
全くしない	20.5%	71.7%	64.0%	54.6%	40.4%

○家での学校の授業の予習（「している」と回答した割合）（単位：％）



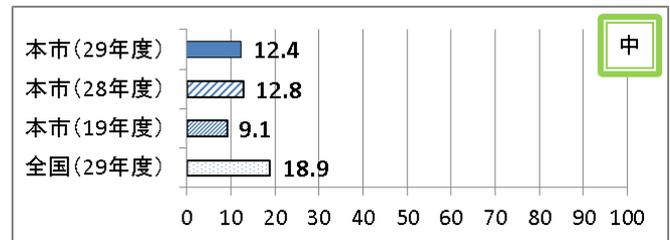
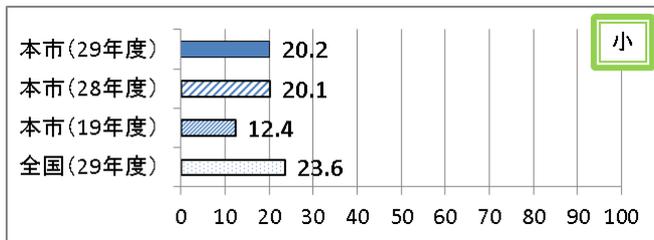
【京都市立小学校 クロス集計】

家で、学校の授業の予習をしていますか (選択肢)	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	16.3%	78.2%	61.4%	82.7%	52.6%
どちらかといえば、している	24.5%	76.5%	59.6%	80.1%	49.1%
あまりしていない	38.3%	75.1%	58.7%	79.1%	47.8%
全くしていない	20.8%	73.8%	57.1%	77.3%	48.1%

【京都市立中学校 クロス集計】

家で、学校の授業の予習をしていますか (選択肢)	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	11.2%	79.6%	74.3%	70.7%	52.6%
どちらかといえば、している	19.6%	78.9%	74.6%	67.9%	50.9%
あまりしていない	35.2%	77.9%	72.8%	64.6%	48.2%
全くしていない	33.9%	77.4%	71.8%	63.1%	47.7%

○家での学校の授業の復習（「している」と回答した割合）（単位：％）



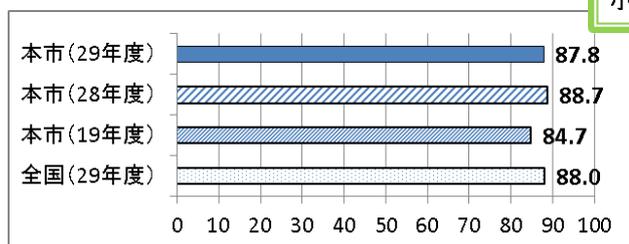
【京都市立小学校 クロス集計】

家で、学校の授業の復習をしていますか (選択肢)	児童数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	20.2%	78.7%	62.6%	83.9%	53.0%
どちらかといえば、している	31.3%	77.0%	60.7%	80.8%	49.7%
あまりしていない	31.9%	74.3%	57.3%	77.9%	47.4%
全くしていない	16.4%	71.9%	54.9%	74.9%	45.6%

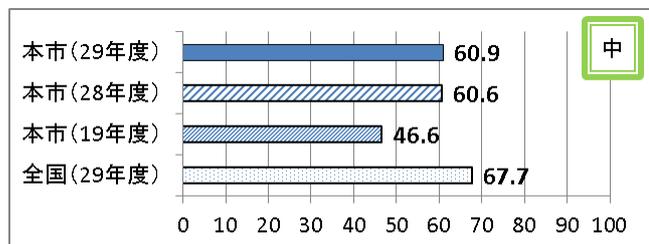
【京都市立中学校 クロス集計】

家で、学校の授業の復習をしていますか (選択肢)	生徒数割合	平均正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	12.4%	80.5%	75.6%	70.7%	53.0%
どちらかといえば、している	27.2%	79.8%	75.6%	68.8%	51.6%
あまりしていない	34.9%	77.8%	72.7%	64.5%	48.0%
全くしていない	25.3%	75.4%	69.3%	60.5%	45.8%

○宿題（「している」と回答した割合）



(単位：％)



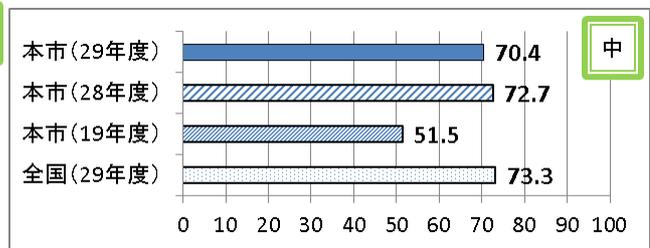
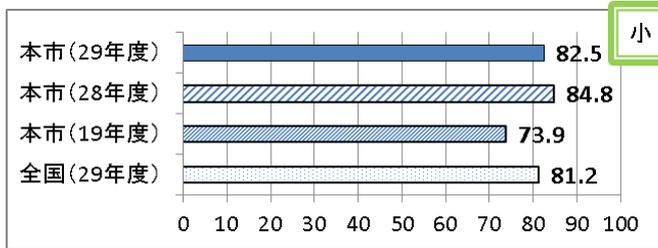
【京都市立小学校 クロス集計】

家で学校の宿題をしていますか（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
している	87.8%	77.3%	61.0%	81.4%	50.8%
どちらかといえばしている	8.9%	66.4%	47.3%	69.7%	37.2%
あまりしていない	2.3%	56.5%	36.2%	57.8%	29.9%
全くしていない	0.8%	54.9%	35.9%	55.2%	29.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

家で学校の宿題をしていますか（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
している	60.9%	80.8%	76.5%	69.5%	52.4%
どちらかといえばしている	26.5%	75.8%	70.1%	61.3%	45.3%
あまりしていない	8.7%	71.8%	62.9%	55.3%	41.3%
全くしていない	3.8%	65.7%	59.1%	51.0%	38.8%

○規範意識（「いじめはどんな理由があってもいけない」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

いじめはどんな理由があってもいけない（選択肢）	児童数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
当てはまる	82.5%	76.6%	60.2%	80.4%	49.7%
どちらかといえば当てはまる	13.8%	73.6%	56.1%	77.8%	47.5%
どちらかといえば当てはまらない	2.4%	66.4%	47.9%	69.3%	39.7%
当てはまらない	1.1%	58.2%	39.7%	63.3%	33.7%

【京都市立中学校 クロス集計】

いじめはどんな理由があってもいけない（選択肢）	生徒数割合	平均正答率			
		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
当てはまる	70.4%	77.9%	73.0%	65.2%	48.8%
どちらかといえば当てはまる	21.7%	79.2%	73.9%	66.2%	50.0%
どちらかといえば当てはまらない	5.0%	77.9%	71.6%	66.2%	50.4%
当てはまらない	2.8%	75.3%	67.9%	62.7%	45.6%